

令和7年度 中井町食品ロス実態調査報告書

(1) 実施概要

■実施日時	令和8年1月26日(月) (作業時間 8:30~16:00(昼食休憩1時間、準備・片付け含む))
■作業場所	大井町剪定枝破碎場
■作業員	中井町職員 4名 大井町職員 1名 松田町職員 1名
■調査対象	・2地区 ①境地区 ②中村地区
■調査試料	・2地区の可燃ごみ(サンプリング試料 約403kg) ・サンプリング試料から食品廃棄物(約157kg)を抽出、細組成調査を行う

(2) 調査結果

1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について(図表1)、2地区の合計で123袋、402.8kg、1袋あたりの平均重量は3.3kgであった。地区別に見ると、①境地区が57袋、202.8kg、②中村地区が66袋、200.0kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要 ()内はR5年度の結果

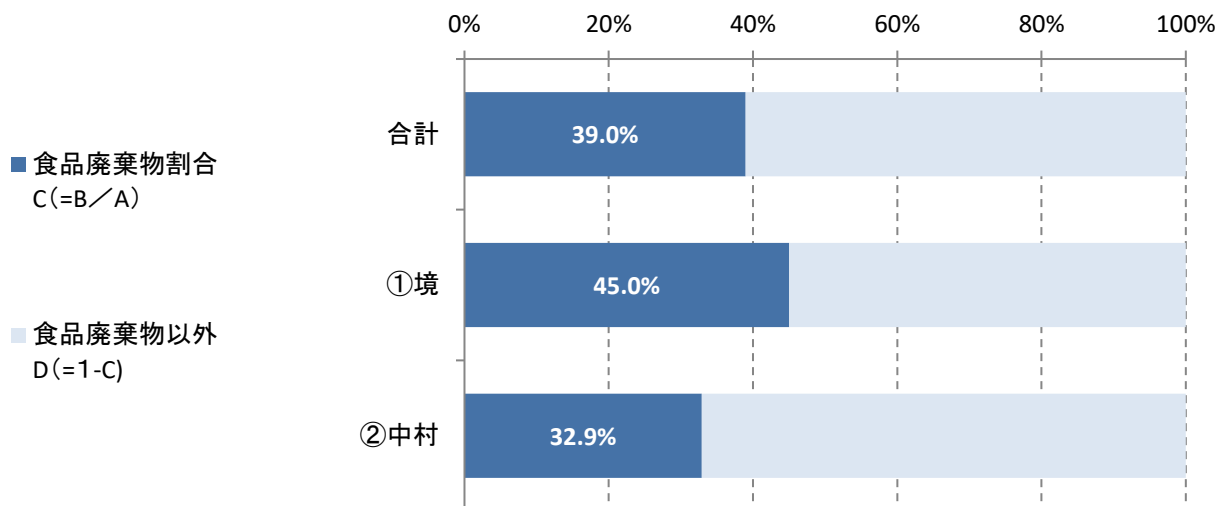
	袋数(個)	重量(kg)	容量(L)	袋あたり	
				重量(kg)	容量(L)
合計	123 (143)	402.8 (405.1)	4,650 (5,235)	3.3 (3.6)	37.8 (36.4)
①境 地区	57 (73)	202.8 (202.9)	2,145 (2,645)	3.6 (4.7)	37.6 (35.3)
②中村 地区	66 (70)	200.0 (202.2)	2,505 (2,590)	3.0 (2.9)	38.0 (37.0)

※合計は、2地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、2地区の合計では39.0%、地区別に見ると、①境地区が45.0%、②中村地区が32.9%となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合 ()内はR5年度の結果 (単位: kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	402.78 (405.10)	157.04 (160.32)	39.0% (39.6%)	61.0% (60.4%)
①境 地区	202.78 (202.90)	91.26 (78.28)	45.0% (38.6%)	55.0% (61.4%)
②中村 地区	200.00 (202.20)	65.78 (82.04)	32.9% (40.6%)	67.1% (59.4%)



2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くすを除く、直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。

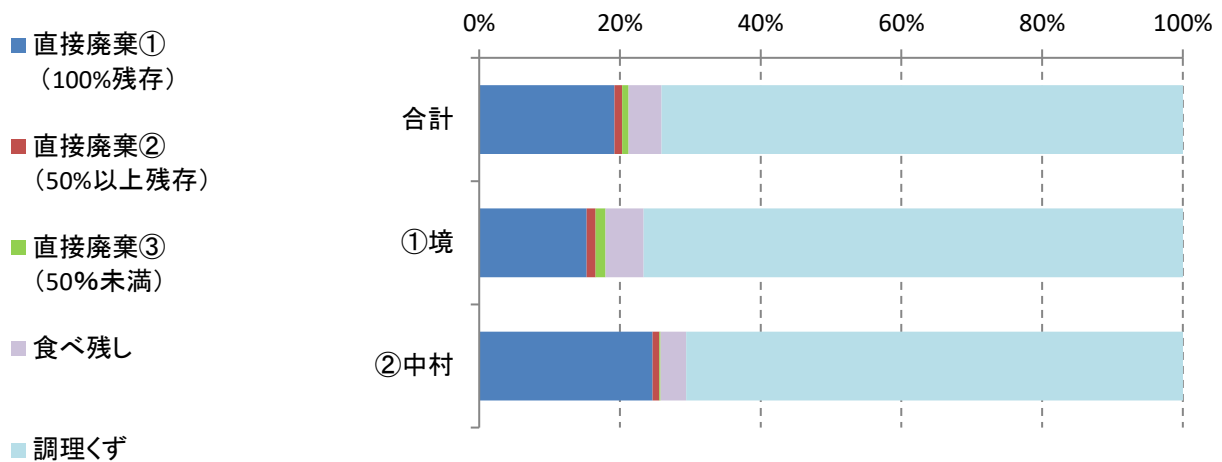
食品廃棄物のうち、食品ロスの重量割合について（図表3）、2地区の合計では25.9%、地区別に見ると、①境地区が23.4%、②中村地区が29.4%となっている。

直接廃棄に着目すると、2地区の合計では、全く手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち19.2%を占めており、①境地区で15.3%、②中村地区で24.7%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、2地区の合計では、4.7%、①境地区が5.4%、②中村地区が3.7%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（ ）内はR5年度の結果

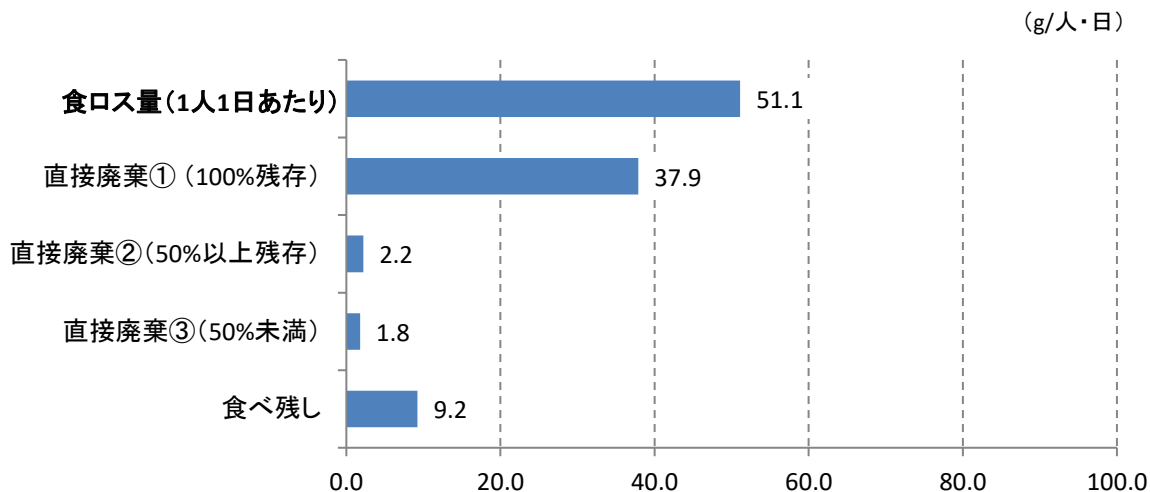
	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	25.9% (28.2%)	19.2% (16.7%)	1.1% (4.6%)	0.9% (4.1%)	4.7% (2.9%)
①境 地区	23.4% (24.4%)	15.3% (12.9%)	1.2% (2.6%)	1.4% (6.0%)	5.4% (2.8%)
②中村 地区	29.4% (31.8%)	24.7% (20.3%)	0.9% (6.4%)	0.2% (2.2%)	3.7% (2.9%)



3) 1人1日あたりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量（図表4）を推計すると、51.1 g／人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（手付かず、100%）が37.9 g／人・日、食べ残しが9.2 g／人・日と推計された。

図表4 1人1日あたりの食品ロス発生量



4) 調査写真

①境 地区

*直接廃棄（100%）



②中村 地区

*直接廃棄（100%）



*直接廃棄（50%以上）



*直接廃棄（50%以上）



（3）前回調査（令和5年度）との比較

本年度、前回調査（令和5年度）と同箇所を調査し、比較を行ったところ、食品廃棄物割合は、0.6ポイント 減少しており、内訳として「調理くず」の量が増加し、「食品ロス」の量が減少した。

今回、「直接廃棄（100%）」の割合が 2.5ポイント、「食べ残し」が1.8ポイント増加したが、他の項目が大幅に減少したため、食品ロス割合は 2.3ポイント 減少する結果となった。

比較 1 食品廃棄物の割合

（単位：kg）

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C（=B/A）	食品廃棄物以外 D（=1-C）
令和7年度	402.78	157.04	39.0%	61.0%
令和5年度	405.10	160.32	39.6%	60.4%

比較2 食品廃棄物に占める割合（直接廃棄、食べ残し）の割合

	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
令和7年度	25.9%	19.2%	1.1%	0.9%	4.7%
令和5年度	28.2%	16.7%	4.6%	4.1%	2.9%

比較3 サンプルング試料に占める割合

	食品廃棄物	調理くず	食品ロス	直接廃棄 100%残存	直接廃棄 50%残存	直接廃棄 50%未満	食べ残し
R7	39.0%	28.9%	10.1%	7.5%	0.4%	0.4%	1.8%
R5	39.6%	28.4%	11.2%	6.6%	1.8%	1.6%	1.1%

サンプルング試料に占める割合

